



令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年10月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス
コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 令和元年11月11日

配当支払開始予定日

令和元年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	52,090	9.4	3,161	110.1	3,269	105.5	1,893	93.2
31年3月期第2四半期	47,600	4.2	1,504	22.9	1,591	21.7	980	17.5

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 1,890百万円 (94.5%) 31年3月期第2四半期 971百万円 (17.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	99.36	
31年3月期第2四半期	51.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第2四半期	67,191	42,470	63.2	2,228.69
31年3月期	65,026	40,808	62.8	2,141.46

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 42,470百万円 31年3月期 40,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		12.00		12.00	24.00
2年3月期		12.00			
2年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,100	6.1	5,550	42.9	5,800	38.7	3,100	41.1	162.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	19,063,968 株	31年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	2年3月期2Q	7,691 株	31年3月期	7,691 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	19,056,277 株	31年3月期2Q	19,056,445 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に陰りが見られ、貿易摩擦懸念や原油高等の国際経済の不確実性により、景気の先行き不透明感が強まっております。外食業界におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態11店舗、とんかつ業態8店舗、鮪業態2店舗、その他業態2店舗（海外2店舗、うちFC1店舗）の合計23店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店9店舗、とんかつ業態3店舗、その他業態2店舗の合計14店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,190店舗（うちFC7店舗、海外14店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態960店舗、とんかつ業態193店舗、鮪業態10店舗、その他の業態27店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、65店舗の改装（全面改装4店舗、一部改装61店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、「ごろごろ煮込みチキンカレー」「和風タルタルチキン定食」「うまトマハンバーグシリーズ」「鶏のバター醤油炒め定食」の期間限定メニューの復刻販売、新商品として「トマトフォンデュソースのビーフハンバーグステーキ定食」「創業ビーフカレー」「うな井」「味玉オリジナルカレー」「牛肉と筍のオイスター炒め定食」「ごろごろチキンのバターチキンカレー」「お肉どっさりグルメセット」「牛と味玉の豚角煮丼」「豚焼肉と豚角煮のあいもり定食」を販売いたしました。また、創業祭として『カルビ増量キャンペーン』、2018年6月に開催いたしました「松屋復刻メニュー総選挙2018」のスピンオフ企画である「Twitter松屋ボツメニュー裏総選挙」において1位となりました「焼き牛めし」の販売、「平成のロングセラー“豚”ビビン丼」と「新作“牛”ビビン丼」を『松屋ビビン丼対決』として販売し、対決期間中販売数の多かった「“豚”ビビン丼」の復刻販売等を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比105.6%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比9.4%増の520億90百万円となりました。

売上原価につきましては、原価率が前年同期の32.8%から32.6%と、売上高の上昇により、工場等の固定費の割合が低下し、改善となりました。販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.0%から61.3%と改善いたしました。この要因は、売上高の上昇により、固定費の割合が低下したことによるものです。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の67.5%から66.1%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比110.1%増の31億61百万円、経常利益は前年同期比105.5%増の32億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比93.2%増の18億93百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は671億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億65百万円増加いたしました。このうち、流動資産は169億58百万円となり、現金及び預金が5億14百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末に比べ7億47百万円減少いたしました。また、固定資産は502億33百万円となり、新規出店や改装実施、工場生産設備などへの投資による有形固定資産の増加等によって、前連結会計年度末に比べ29億13百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は247億21百万円となり、長期借入金の返済、買掛金の支払い等による減少要因がある一方、短期借入金の増加等の要因により前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は424億70百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ16億62百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の62.8%から63.2%と向上しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億14百万円減少し、57億96百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は33億50百万円(前年同期は25億89百万円の収入)となりました。

これは「税金等調整前四半期純利益」31億27百万円や、「減価償却費及びその他の償却費」19億32百万円、「未収消費税等の増減額」8億84百万円といった資金増加要因があった一方、「法人税等の支払額」10億77百万円や、「未払消費税等の増減額」4億53百万円、「たな卸資産の増減額」4億45百万円、「仕入債務の増減額」4億23百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は49億91百万円(前年同期は29億3百万円の支出)となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」45億62百万円や、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」3億円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は11億31百万円(前年同期は92百万円の支出)となりました。

これは「短期借入れによる収入」35億円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」12億71百万円や、「短期借入金の返済による支出」5億円、「リース債務の返済による支出」3億29百万円、「配当金の支払額」2億28百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期の業績を勘案し、令和元年5月8日に公表いたしました令和2年3月期の通期業績予想を変更いたしました。

なお、当該予想数値に関する事項は、本日(令和元年10月31日)公表の「令和2年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,491,916	8,976,925
受取手形及び売掛金	1,339,411	1,636,456
商品及び製品	605,097	552,957
原材料及び貯蔵品	3,773,015	4,245,064
その他	2,496,996	1,547,144
流動資産合計	17,706,436	16,958,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,083,079	17,424,644
機械装置及び運搬具(純額)	1,625,721	1,888,404
工具、器具及び備品(純額)	1,987,463	2,075,401
リース資産(純額)	1,302,926	1,057,334
土地	9,341,954	9,341,954
建設仮勘定	423,151	2,630,258
有形固定資産合計	31,764,296	34,417,997
無形固定資産		
ソフトウェア	167,461	175,029
その他	84,350	112,293
無形固定資産合計	251,811	287,322
投資その他の資産		
投資有価証券	71,642	72,431
敷金及び保証金	12,400,782	12,361,115
長期前払費用	431,523	436,276
店舗賃借仮勘定	109,358	113,582
繰延税金資産	1,546,043	1,558,553
投資不動産(純額)	200,536	196,856
その他	553,520	799,020
貸倒引当金	△9,761	△9,741
投資その他の資産合計	15,303,646	15,528,094
固定資産合計	47,319,755	50,233,414
資産合計	65,026,191	67,191,963

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,175,724	1,751,274
短期借入金	87,690	3,085,154
1年内返済予定の長期借入金	2,132,756	1,583,986
未払金	4,591,921	4,568,905
リース債務	634,324	559,836
未払法人税等	1,059,806	1,172,476
賞与引当金	927,418	962,702
役員賞与引当金	—	377
資産除去債務	—	1,846
その他	2,437,486	1,751,103
流動負債合計	14,047,127	15,437,661
固定負債		
長期借入金	7,174,912	6,451,742
役員退職慰労引当金	581,100	567,800
リース債務	772,752	582,027
資産除去債務	1,449,230	1,501,410
繰延税金負債	5,660	5,280
その他	187,152	175,538
固定負債合計	10,170,807	9,283,798
負債合計	24,217,935	24,721,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	27,271,571	28,936,247
自己株式	△16,321	△16,321
株主資本合計	40,874,327	42,539,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	1,135
為替換算調整勘定	△66,659	△69,636
その他の包括利益累計額合計	△66,071	△68,501
純資産合計	40,808,255	42,470,502
負債純資産合計	65,026,191	67,191,963

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）
売上高	47,600,944	52,090,481
売上原価	15,632,207	16,962,846
売上総利益	31,968,736	35,127,634
販売費及び一般管理費	30,463,976	31,966,280
営業利益	1,504,759	3,161,354
営業外収益		
受取利息	11,189	10,853
受取配当金	1,575	1,575
受取賃貸料	123,122	113,118
その他	97,253	133,667
営業外収益合計	233,139	259,213
営業外費用		
支払利息	22,478	25,995
賃貸費用	108,754	109,996
その他	15,106	14,638
営業外費用合計	146,339	150,630
経常利益	1,591,559	3,269,937
特別利益		
固定資産売却益	0	59
受取補償金	25,000	—
収用補償金	—	89,316
その他	1,486	4,330
特別利益合計	26,486	93,706
特別損失		
固定資産除却損	10,838	6,327
店舗閉鎖損失	932	1,853
固定資産売却損	903	313
減損損失	132,723	227,794
和解金	50	—
特別損失合計	145,447	236,289
税金等調整前四半期純利益	1,472,599	3,127,354
法人税、住民税及び事業税	632,592	1,247,135
法人税等調整額	△140,200	△13,132
法人税等合計	492,391	1,234,003
四半期純利益	980,207	1,893,351
親会社株主に帰属する四半期純利益	980,207	1,893,351

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
四半期純利益	980,207	1,893,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	546
為替換算調整勘定	△7,976	△2,976
その他の包括利益合計	△8,251	△2,429
四半期包括利益	971,955	1,890,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	971,955	1,890,921
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,472,599	3,127,354
減価償却費及びその他の償却費	1,684,630	1,932,947
減損損失	132,723	227,794
賞与引当金の増減額（△は減少）	23,435	35,389
受取利息及び受取配当金	△12,764	△12,428
支払利息	22,478	25,995
有形固定資産除売却損益（△は益）	11,740	△82,734
店舗閉鎖損失	932	1,853
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	453,352	404,353
売上債権の増減額（△は増加）	△54,338	△297,429
たな卸資産の増減額（△は増加）	△129,577	△445,358
仕入債務の増減額（△は減少）	139,736	△423,752
未払消費税等の増減額（△は減少）	△234,832	△453,192
未収消費税等の増減額（△は増加）	—	884,721
その他	30,549	△497,035
小計	3,540,665	4,428,479
法人税等の支払額	△950,727	△1,077,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,589,937	3,350,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△3,273,394	△4,562,439
有形固定資産の売却及び収用等による収入	4	89,654
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△347,857	△300,720
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	97,910	97,594
利息及び配当金の受取額	1,767	2,579
関係会社株式の取得による支出	—	△243,224
その他	618,340	△74,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,903,229	△4,991,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,000,005	3,500,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△500,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,519,840	△1,271,940
リース債務の返済による支出	△320,499	△329,636
自己株式の取得による支出	△915	—
利息の支払額	△22,224	△38,062
配当金の支払額	△228,678	△228,675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,153	1,131,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,612	△5,827
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△413,057	△514,990
現金及び現金同等物の期首残高	5,623,683	6,311,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,210,625	5,796,925

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和元年6月25日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,675千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和元年6月25日 定時株主総会	普通株式	228,675	12	平成31年3月31日	令和元年6月26日	利益剰余金

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。